

やまのいも 使用可能な農薬一覧表

銚田市農業振興センター
【令和7年5月1日現在】

<殺菌剤>

薬剤名	対象病虫害								希釈倍数 使用量 (使用液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法等	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード	
	葉 渋 病	炭 疽 病	つ る 枯 病	青 か び 病	褐 色 腐 敗 病	根 腐 病	う ど ん こ 病	その他 病害虫								
ベンレートT水和剤20				●	●				100~200倍 (-)	植付前	1回	10分間種いも浸漬	チウラム	1回	(殺虫殺菌剤)	M03
								●	20倍 (-)	植付前	1回	約2秒間種いも浸漬				
				●					種いも重量の0.3~0.5% (-)	植付前	1回	種いも粉衣	ベノミル	4回以内(但し、植付前までの処理は1回以内、植付後は3回以内)		1
ティービック水和剤								●	50倍	植付前	1回	約2秒間種いも浸漬	チウラム	1回		M03
													ペンシクロン	1回		20
ダコニール1000	●	●	●						1000倍 (100~300L/10a)	収穫30日前まで	6回 以内	散布	TPN	6回以内		M05
ジマンダイセン水和剤	●	●							400~600倍 (100~300L/10a)	収穫21日前まで	4回 以内	散布	マンゼブ	4回以内	(殺虫殺菌剤)	F:M03 I:UN
キノンドー水和剤40	●								600倍 (100~300L/10a)	収穫14日前まで	5回 以内	散布	有機銅	5回以内		M01
ラビライト水和剤	●	●							400倍 (100~300L/10a)	収穫14日前まで	4回 以内	散布	チオファネートメチル	5回以内	(殺虫殺菌剤)	1
													マンネブ	4回以内		M03
トップジンM水和剤	●	●							800倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	5回 以内	散布	チオファネートメチル	5回以内		1
ストロビーフロアブル	●								2000~3000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布	クレソキシムメチル	3回以内		11
									24倍 (3L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	無人航空機による散布				

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意を払っていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

<殺菌剤> やまのいも

【令和7年5月1日現在】

薬剤名	対象病虫害								希釈倍数 使用量 (使用液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法等	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード
	葉 渋 病	炭 疽 病	つ る 枯 病	青 か び 病	褐 色 腐 敗 病	根 腐 病	う ど ん こ 病	その他 病虫害							
フロンサイド水和剤	●								2000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	4回 以内	散布	フルアジナム	5回以内(但し、植付前の土壌混和は1回 以内、植付後の散布は4回以内) (殺虫殺菌剤)	29
ベルコート水和剤	●								1000~2000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	5回 以内	散布	イミノクタジナルベ シル酸塩	5回以内(但し、種いもへの処理は1回以 内、無人航空機散布は3回以内)	M07
				●					- (種いも重量の1%)	植付前	1回	種いも粉衣			
ベルコートフロアブル	●	●							1000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	5回 以内	散布	イミノクタジナルベ シル酸塩	5回以内(但し、種いもへの処理は1回以 内、無人航空機散布は3回以内)	M07
	●								12倍 (3L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	無人航空機による散布			
				●					200倍 (-)	植付前	1回	1~10分間種いも浸漬			
Zボルドー	●	●							500倍 (100~300L/10a)	-	-	散布	塩基性硫酸銅	-	M01
									16倍 (3.2L/10a)	-	-	無人航空機による散布			
硫黄粉剤50							●	ハダニ類	3kg/10a	-	-	散布	硫黄	- <いも類該当> (殺虫殺菌剤)	F:M02 I:UN

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意を払っていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

やまのいも 使用可能な農薬一覧表

銚田市農業振興センター

【令和7年5月1日現在】

<殺虫剤>

薬剤名	対象病虫害								希釈倍数 使用量 (使用液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード
	コガネムシ類 幼虫	アブラムシ類	アザミウマ類	ハダニ類	ヤマノイモコガ	ナガイモコガ	ハスモンヨトウ	シロイチモジヨトウ							
クロールピクリン								(その他病虫害) 褐色腐敗病、根腐病、ケラ、センチュウ類、 ネキリムシ類、ハリガネムシ類、一年生雑草	<床土・堆肥> 1穴当り3~5mL <圃場> 1穴当り2~3mL	-	1回	土壌くん蒸	クロールピクリン	1回 (殺虫殺菌除草剤)	8B
ダイアジノンSLゾル	●								25倍 (100L/10a)	植付前	1回	全面土壌混和	ダイアジノン	1回	1B
アドマイヤー1粒剤	● #	●							4kg/10a	植付時	1回	植溝土壌混和	イミダクロプリド	3回以内(但し、植付時までの処理は1回以内、植付後の処理は2回以内)	4A
フォース粒剤								タネバエ	4kg/10a	植付時	1回	植溝土壌混和	テフルトリン	1回	3A
								ネキリムシ類	6kg/10a	植付時	1回	植溝土壌混和			
オルトラン水和剤		●			●				1000倍 (100~300L/10a)	収穫45日前まで	1回	散布	アセフェート	1回	1B
ウララDF		●							2000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布	フロニカミド	2回以内	29
								50倍 (3~5L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	無人航空機による散布				
								32倍 (1.6~3.2L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	無人航空機による散布				
アドマイヤー顆粒水和剤		●							10000倍 (100~300L/10a)	収穫14日前まで	2回 以内	散布	イミダクロプリド	3回以内(但し、植付時までの処理は1回以内、植付後の処理は2回以内)	4A
								160倍 (3.2~4L/10a)	収穫14日前まで	2回 以内	無人航空機による散布				
								400倍 (4~12L/10a)	収穫14日前まで	2回 以内	無人航空機による散布				

#：「コガネムシ類」で登録

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散（ドリフト）しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

<殺虫剤> やまのいも

【令和7年5月1日現在】

薬剤名	対象病虫害								希釈倍数 使用量 (使用液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード
	コガネムシ類 幼虫	アブラムシ類	アザミウマ類	ハダニ類	ヤマノイモコガ	ナガイモコガ	ハスモンヨトウ	シロイチモジヨトウ							
トレボン乳剤		●			●		●		1000倍 (100~300L/10a)	収穫14日前まで	3回 以内	散布	エトフェンプロックス	3回以内	3A
トレボン粉剤DL							●		4kg/10a	収穫14日前まで	3回 以内	散布	エトフェンプロックス	3回以内	3A
モスピラン水溶剤		●	●			●			4000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布	アセタミプリド	3回以内	4A
									4000倍 (100~300L/10a)	種芋掘取り7日前まで	5回 以内	散布		5回以内 (種芋栽培)	
アディオン乳剤		●	●		●				2000~3000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	5回 以内	散布	ペルメトリン	5回以内	3A
マブリック水和剤20		●			●	●			2000~4000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布	フルバリネート	2回以内	3A
アタブロン乳剤						●			2000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布	クロルフルアズロン	3回以内	15
コロマイト乳剤				●					1000倍 (100~500L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布	ミルベメクチン	2回以内	6
マイトコーネフロアブル				●					1000倍 (100~300L/10a)	収穫3日前まで	1回	散布	ビフェナゼート	1回	20D
コテツフロアブル						●		カンザワハダニ	2000倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	2回 以内	散布	クロルフェナピル	2回以内	13
デルフィン顆粒水和剤						●	●	オオタバコガ	1000倍 (100~300L/10a)	発生初期 (但し、収穫前日まで)	-	散布	BT (生菌)	-	11A
モスピラン顆粒水溶剤		●	●			●			4000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布	アセタミプリド	3回以内	4A
									4000倍 (100~300L/10a)	種芋掘取り7日前まで	5回 以内	散布		5回以内 (種芋栽培)	
トランスフォームフロアブル		●							32倍 (3.2L/10a)	収穫3日前まで	3回 以内	無人航空機による散布	スルホキサフロル	3回以内	4C
									2000倍 (100~300L/10a)	収穫3日前まで	3回 以内	散布			

※参考資料の作成に当たっては、農業使用基準の内容について細心の注意を払っていますが、農業を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農業の誤った使用を行わないようにしてください。

※農業散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農業が飛散（ドリフト）しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

やまのいも に使用可能な農薬一覧表

銚田市農業振興センター
【令和7年5月1日現在】

<除草剤>

薬剤名	対象雑草	使用量・薬量 (希釈水量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法等	有効成分の種類	同左毎の使用回数	分類 コード
タッチダウンiQ	一年生雑草	250~500mL/10a (25~50L/10a)	耕起7日以前 (雑草生育期)	1回	雑草茎葉散布	グリホサートカリウム塩	1回 <#野菜類該当>	9
トレファノサイド粒剤2.5	一年生雑草 (ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク 科、アブラナ科を除く)	4~6kg/10a	植付直後	1回	全面土壌散布	トリフルラリン	1回	3
			生育初期 (但し、植付30日後まで)	1回	畦間土壌散布			
クレマートU粒剤	一年生雑草	4~6kg/10a	植付後萌芽前 (雑草発生前)	1回	全面土壌散布	ブタミホス	1回	3
ゴーゴーサン乳剤30	一年生雑草	200~400mL/10a (100L/10a)	植付後萌芽前 (雑草発生前)	1回	全面土壌散布	ペンディメタリン	1回 <適用地帯：全域> <適用土壌：全土壌>	3
ロックス	一年生雑草	100~200g/10a (70~150L/10a)	植付直後~萌芽前	1回	全面土壌散布	リニュロン	1回	5
バスタ液剤	一年生雑草	300~500mL/10a (100~150L/10a)	収穫30日前まで (雑草生育期耕起前・植付前又は 畦間処理)	3回 以内	雑草茎葉散布	グルホシネート	3回以内	10
ゴーゴーサン乳剤	一年生雑草	200~400mL/10a (100L/10a)	植付後萌芽前 (雑草発生前)	1回	全面土壌散布	ペンディメタリン	1回	3
コダールS水和剤	一年生雑草	225~300g/10a (100L/10a)	植付後萌芽前 (雑草発生前)	1回	全面土壌散布	プロメトリン	1回 <適用土壌：全土壌> (但し、砂土を除く)	5
			萌芽後 (但し、植付45日後まで) (イネ科雑草2葉期まで)	1回	畦間土壌散布	S-メトラクロール		1回 <適用地帯：全域>

#野菜類(えだまめ、たらのき、はくさい、キャベツ、レタス、ねぎ、たまねぎ、ほうれんそう、にんじん、だいこん、はつかだいこん、アスパラガス、トマト、きゅうり、なす、オリーブ(葉)、ピーマン及びとうがらし類、びわ(葉)、薬用にんじん、てんさい、豆類(種実、ただし、らっかせいを除く)、かんしょ、ばれいしょを除く)

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意を払っていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。